

FIRST WATT



SIT-3

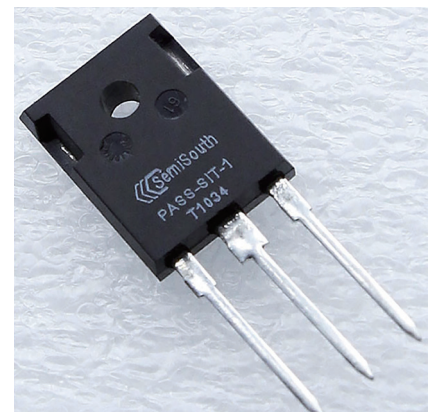
Stereo Power Amplifier

¥550,000 (税別)

日本国内 30 台限定販売

SIT-3 は、First Watt 専用の SIT 出力素子（別名 VFET）パワートランジスターを使用した
シングルエンド / シングルステージ・クラス A の最新パワー・アンプです

SIT-1/SIT-2 の設計思想と構造を受け継ぎ、SIT 出力素子の新たな可能性を追求しました。



SIT-3にはSIT-1 / SIT-2と比較するとSIT出力素子の使用方法に大きな違い（特徴）があります。

回路の心臓部を形成するトランジスタ(SIT出力素子)は、コモンドレイン・モードと呼ばれるSIT-1 / SIT-2とは完全に異なったモードで動作します。

一般的に3つのピンを持つ出力素子は、以下の3種類のモードのいずれかで動作します。

例：FET：コモンソース・モード、コモンドレイン・モード、コモンゲート・モード

SIT-1とSIT-2では、SIT素子はコモンソース・モード（ソース接地）で動作し信号がゲートに入力され、増幅されて位相が反転した信号はドレインから出力されます。ソースはグラウンドの役割を果たします。

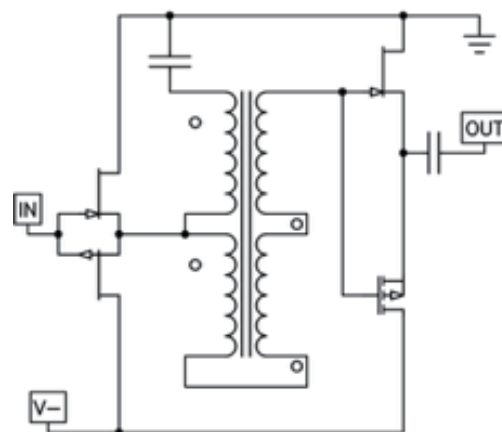
このモードでは、電圧と電流の両方が増幅され、反転した位相はスピーカターミナルによって正相に戻されます。

SIT-3では、SIT素子はコモンドレイン・モード（ドレイン接地）で動作します。信号がゲートに入力され、増幅された信号はソースから出力されます（位相は反転しません）。

このモードでは、電流のみが増幅され、電圧は高品質ステップアップトランス（入力トランス）によって増幅されます。

SIT素子は、どちらの方法でもフィードバックなしに適確に増幅動作を行いますが、コモンドレイン・モード（ドレイン接地）においてはより低歪み、低ノイズ、高ダンピングファクターが得られます。

引き換えに入力トランス（ステップアップトランス）の追加が挙げられますが、得られる音質向上の点から見れば、妥協可能な小さな要素になります。



コモンドレイン・モード（ドレイン接地）は、SIT-1 / SIT-2 同様のシンプルなスペクトル歪み特性を示し、増幅と二次高調波をはるかに低い歪み値で制御できます。

By Nelson Pass (First Watt 主宰者)

もしあなたが私と同じ様に18ワットの出力が十分なパワーだと思うのなら、私は確信できます

SIT-3は、あなたにとってうってつけの楽しいパワー・アンプだとすぐにお気づきになるでしょう。

仕様

入力インピーダンス	200 Kohm
ゲイン	11.5dB
ダンピングファクター	30
最大出力 (8 Ω)	18 watts @ 1% THD, 1KHz
最大出力 (4 Ω)	30 watts @ 1% THD, 1KHz
周波数特性	-0.5dB@10Hz, -3dB@50Hz
ノイズ	50 uV unweighted, 20-20 KHz
消費電力	150 watts
ヒューズ (3AG slow blow type)	2.5 Amp for 120VAC 1.25 Amp for 240 VAC
外形寸法	W43.18, D40.64, H17.15
重量	14.5kg